

月刊

リサイクルデザイン

地球が与えてくれた贈り物を大切に
リサイクル社会の実現をめざしたい

リサイクルデザインは、横浜市内の資源回収業者の組合(136業者が加盟)による、市民と組合員にリサイクルの情報・回収の実情を伝えるための情報誌です



エコマークは

買い物の助っ人



エコマークはドイツの「ブルーエンジェル」などを参考に、財団法人日本環境協会が制度として設置、1989年に使いはじめました。いろいろな再生製品につけられているので、一度はご覧になっ

ています。エコマークを製品につけるには、所定の手続きをとってエコマーク推進委員会で審議・決定される必要があります(認定されるとエコマークの使用料を2年分払

たことがあると思います。そのデザインは、「私たちの手で地球を、環境を守ろう」という気持ちを表現したもの。マークの上に書かれた、「ちきゅうにやさしい」という言葉は、エコマークの主旨ともな

うことになります。基準があいまいになりがちなので、品目別に国際的な認定基準があります。例えば台所用の水切り三角コーナーの場合、水をきれいにするためゴミを一緒に流さない

ように「メッシュは約1×1.5ミリ程度より小さいこと」というようになっています。

日本環境協会が発行している『エコマーク商品認定基準』という冊子には、約72種の商品についての基準が、種類別に細かい部分に至るまで記されています。

1998年3月末現在、エコマークのついた製品は2286商品。いくつかあげてみると、生ゴミコンポスト化機器・環境に関する雑誌・布製おむつ・畳・使用後にリサイクルできるスリッパケース…。

エコマーク事業には、環境にやさしい社会の実現に向けて、商品の選択という側面から環境にやさしい生活スタイルを提案しようという意味がこめられています。ちよっとした買い物でも、エコマークを参考にしながら、自分の目でも選びたいものです。(ドナルド)

参考資料

(財)日本環境協会「エコマークのてびき」「エコマーク商品認定基準」



エコマーク

あきびんポスト撤去後の びん回収はどうなるの？

かつてはどの店で買っても同じ値段だった飲み物が、ディスカウント店の増加で店によって価格差ができるようになり、ビールびん1本を店に返して5円戻ってくるというデポジット制度が、かつてほど魅力を持たなくなりました。さらに、分別回収が市内全域に広がり、家の近くまで来る回収車が行って行くようになるため、店に返すことをめんどろに感じるという声も聞きます。

地域によっては、びんの集団回収も行われているのですが、びん価格が低迷しているためこれまでのようにまとまった金額にならなかったり、月1回の回収の日まで家に置いておくのが邪魔といった理由で、集まりにくくなっています。分別回収が始まる以前と同じようにゴミに混ぜて捨てている人も、まだかきりいるようです。

びんは何度も再利用できるものの、ワンウェイ容器としてしか使われていないのが現状です。

なぜあきびんポストを撤去するの？

こうした状況のなかで、今年4月末、団地やマンションなどを中心に設置されているあきびんポストを撤去することにしたという通知が、横浜市から出されました。

あきびんポストは、1986年に使用を開始して以来、常設のびん回収場所としての役割を果たし、現在では約850か所に設置されています。その多くは、白（透明）・茶・黒の3つのポストで1セットとなっているため、ポストの総数は2550余りに及んでいます。

撤去を決めた理由を、横浜市環境事業局減量推進課にうかがいました。理由は次の2つです。

①びんポストは、横浜市がびんの分別収集を始める前に、ゴミを減らす目的で設置したものなので、分別収集が市内全域で行われるようになった現在、役割を終えたと判断したこと。

②分別収集とあきびんポストを併

用するのは、市の財政

から考えて困難であること。びんポストを撤去すれば、これまで団

体に3円・回収業者に2円出していた奨励金（年間約1千万円）を削減できる。

あきびんポスト撤去後のびんの処理については、市が週1回行っている分別収集に出してほしいとのことでした。

今はどうやって回収しているの？

あきびんポストは入口の位置が高く落差があるため、ポストに入ると割れてカレット（ガラスびんの原料として使う砕いたびん）になる仕組みです。色分け回収しているのび、びん原料として使う際に、選別の手間が省けることが利点の一つとなっています。本体は横浜市が準備し、委託を受けた民間業者が回収を行っています。

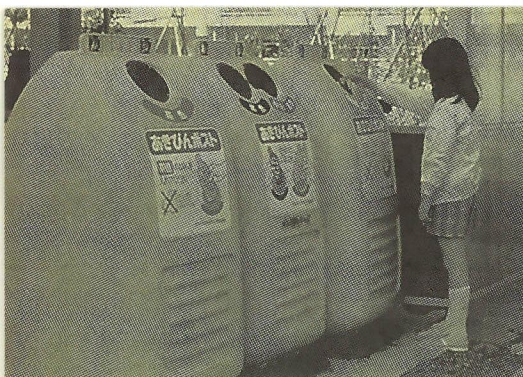
あきびんポストと並行して行っ



ている分別回収で集めたびんは、横浜市の資源選別センター（戸塚・緑）と資源化センター（鶴見）の3か所に運んで缶と分別した後、手作業で色分けします。砕け方が細かすぎて選別しきれなかったものなどは、ゴミとして埋め立てて処理しています。その量は回収量の約15～18パーセントとなっています。

あきびんポストによる回収量は、97年度実績で1651トン、分別回収による収集量は3万876トンとなっています。

あきびんポストも分別回収も、生きびん（リターナブルびんのこと）ビールびんのようにメーカーに戻して再利用するびん）として生かすわけではなく、すべてカレットにしてしまうという点では同じです。カレットはびんを作る原料として使うものですが、最近はいきれ



あきびんポスト

ずに余剰状態にあります。生きびんを選別して再利用し、再利用できないものについてだけカレットにして再生するという形の回収に切り替えていけるなら、びん回収はエネルギー・コストの両面から、よりよい形になっていくはずですが、そのためにも、あきびんポストを撤去して空いた場所を、生きびん回収の拠点として利用していくことができないものでしょうか。

生きびんを回収すること

どんな意味があるの？

生きびんを回収することは、本当に意味があるのか、まずエネルギー消費量の観点から、缶ビール・びんビールを例に考えてみましょう。

ビール用のアルミ缶を1つ作るには2347カロリーのエネルギーが必要で、それだけのエネルギーを使って缶を作っても、使うのは1度だけ。回収に出せば再生することはできますが、再生するたびに約70カロリーのエネルギー

ギーが必要となります。

一方、ビールびん1本を作るのに必要なエネルギーは999カロリー。一度作ったびんは、洗浄・殺菌すれば20〜30回使うことができます。この数字から、生きびんの再利用はエネルギー消費量を抑えることがわかります。

ではコストの面ではどうでしょうか。720ミリリットルびんを

再利用するには、びん商のコスト12円（集びん費5円・集びん手数料5円・運賃2円）、洗びん業者またはメーカーにかかるコストは10円（洗びん費6円・洗びん手数料4円）となり、生きびんを再利用するためには1本当たり22円かかります。一升びんの場合は、びん商のコスト22円（集びん費8円・集びん手数料8円・運賃6円）、洗びん業者またはメーカーの負担するコストは17円（洗びん費8円・洗びん手数料6円・運賃3円）となり、生きびん再利用のためには39円かかる計算です。

これに対し新びんの生産費は、720ミリリットルびんが30円、一升びんが49円かかるため、コスト面から生きびんの回収・再利用

に軍配が上がります。

このままではゴミが増えるんじゃない？

突然決まったあきびんポスト撤去を、市民はどう受け止めているのか、自宅周辺の地域で生きびんを実験回収している染谷方子さんにうかがいました。

「横浜市の分別収集は缶と混ぜて回収しているので分別に手間がかかるし、色別けもしてありません。今のあきびんポストに対する不満もあるけれど、それでも市の回収と比べれば、缶と分けたうえ色別になっている点は評価できます。出したい時にらせるのもメリットのひとつです。これがなくなってしまうのは、本当に残念です。

今、神奈川区にある自宅の近所で生きびんの実験回収をしています。地域によっては回収量が増えています。量は少なくとも生きびんが出てくるし、増えていく可能性があることがわかったので、びんポストを撤去した地域で、びんポストを置いてあった場所を使って生きびん回収ができるようになればと思っています。今後市内に

できるリサイクルコミュニティセンターも、回収の一拠点にしたいですね。

今回の横浜市のやり方は強引だと思っています。撤去するのであればあらかじめ市民の合意を得るべきだし、『撤去後は週1度の回収に出してください』と言うだけでなく、ゴミをいかに減らすかを念頭に置き、後のこともきちんとコーディネートすべきではないでしょうか。2010年までにゴミを30パーセント減量という方針とは、逆行しているように思います。それに、2500本以上もあるプラスチック製のあきびんポストは、焼却炉で燃やして処理するのかしら？」

あきびんポストの撤去は、当初の予定では今年度中とされていましたが、減量推進課では6月下旬から9月上旬にかけて撤去することを決めました。

撤去して空いた場所を、生きびん回収の拠点として利用していくことができるなら、何度も使える生きびんを大切に再利用していく道も開けていくのではないのでしょうか。（よしのたかこ）

*1 青（うすい水色）と緑を回収するポストを加えて4つ設置しているところもある。黒や緑は用途が限られ、在庫が増える一方の状態となっている

*2 この数字は横浜市のように機械巻き込み車で収集している場合、収集コストは安い。川崎市・藤沢市のようにプラスチックコンテナにびんを入れて収集する場合は5%ただし収集コストは高くなる

*3 あきびん処理対策協議会資料による

*4 一升びんを使うメーカーは関東地方に非常に少ないため、どうしても運搬費用がかかってしまう

*5 受注量・納入運賃などの条件によって±10%程度の差異がある。メーカーはコストを公表していないので推定値

名門男子校で最先端の家庭科教育

―麻布高校講師 矢野郁子さん (東京都港区)

近年、公立学校だけでなく私立学校でも家庭科は男女共修になりつつある。その傾向は男子校にも広がっており、名だたる進学校、麻布高校も例外ではない。今回は、麻布高校で家庭科を教える矢野郁子さんを訪ね、お話を伺った。

●苦勞が多かった1年目

家庭科男女共修が公立学校で定着する中、麻布高校では、保護者を中心に家庭科を教えてほしいという声が高まり、1996年に家庭科が導入された。矢野さんは、環境に関するさまざまな市民活動に取り組み続けており、子供たちに環境教育や消費者教育を行いたいという熱意から教員免許を取得し、横浜市立の中学校で産休補助などとして家庭科を教えてきた。「麻布らしい家庭科を」と教員を探していた学校のニーズと矢野さんの経歴がぴったりに一致し、採用の運びとなった。

麻布では1年生が週1回だけ家庭科を学ぶ。しかし、なにしろエリート中のエリートばかりのこの学校で、いきなり家庭科を教えるとしても、生徒

たちは当初はほとんど受け付けてくれなかった。おまけに校舎の中には家庭科を教えるための設備はまったくなく、矢野さんの採用1年目の苦勞は計り知れないものがあつたようだ。

だが他の教員たちの暖かいサポートもあり、家庭科は生徒の中に徐々に定着し始めた。何と言っても矢野さんの魅力あふれる授業が生徒の関心を惹き付けたのだらう。

●体験型の教育を通した「麻布らしい」家庭科教育

矢野さんの授業は教科書をほとんど使わない。毎回ワークシートを作成し、授業を聞きながら書き込めるようにして生徒の理解を助ける。授業では食品衛生法、食品添加物、ポストハーベスト、遺伝子組み替え、食糧自給率、ダイオキシン、環境ホルモンと、時代の最先端を行く話題を扱い、自作の沢山の資料を提示しながら説明していく。内容はかなり高度で、15歳の少年がすべて理解するのは困難かとも思われたが、そこは麻布、50人クラスの三分の二ほどの生徒が熱心に授業を受けているという。

年に1回の調理実習では、包装材や生ゴミをなるべく出さないエコクッキングを実践し、無農薬・有機栽培野菜など食材にもこだわる。

夏休みの課題は、老人福祉施設や地域作業所などでのボランティア、スー



パーのエコチェック、我が家の環境家計簿などの中から好きなものを選ぶ。1年の三分の一は環境教育に充てているが、どの分野をとっても環境と関わりがあるため、「1年中環境教育をやっているようなもの」と矢野さんは語っている。昨年のアンケートでは、生徒の関心の第一位は環境問題だった。はじめはさほど熱意を持っていなかったが、次第に矢野さんの授業に惹き付けられ、1年の終わりに「先生、来年は家庭科なの？」と尋ねる生徒もいるという。

環境、消費者、人権、男女平等など、あらゆる問題を包括的に取り上げられる家庭科という教科で、矢野さんのような素晴らしい先生の授業を受けられる麻布の生徒たちは本当にラッキーだ。矢野さんの授業のノウハウが麻布だけに留まらず、広く日本中に広がってこれればと願うばかりである。

たかはし・ゆき

横浜・ゴミを考える連絡会代表「環境教育の現場から」は隔月連載です

●コピー用紙 (新聞古紙100%の再生紙)

平成10年5月現在

サイズ	入数	規格	1・2ケース	3・4ケース	5~9ケース
A4	2500枚	白 (白色度70%)	2,080円	1,980円	1,910円
		ピンク・イエロー・グリーン	3,660円	3,480円	3,120円
B4	2500枚	白 (白色度70%)	3,180円	3,160円	2,780円
		ピンク・イエロー・グリーン サーモン・パープル・ブルー	5,000円	4,800円	4,680円
B5	5000枚	白 (白色度70%)	3,180円	3,140円	2,760円
A3	1500枚	白 (白色度70%)	2,570円	2,540円	2,230円

●コンピュータ用紙

入数	規格	5~9ケース
2000枚	白 (白色度60%)	2,900円

ご注文は

横浜市資源リサイクル事業協同組合
TEL 045-316-4050 FAX 045-316-6050

*この他の再生紙については、右記までお問い合わせください。

白髪……気にしない人、水質汚染や発ガン性を気にしながら必要最低限染めている人、染めるのを我慢している人、など様々ですが、最近では天然植物100%のハープ染料「ヘナ」を使って、自宅で簡単に白髪を染める方法があります。

ヘナ染料は、インド近辺に自生しているミソハギ科の植物を粉末化したもの。これで染めると、白髪部分が栗色に染まります（数色あるものの、黒色など濃い色のものは一部化学染料が使われている）。髪質を痛めないばかりか、ハープによるトリートメント効果もあるようです。使い方にもよりますが、部分染なら1袋で何回も使え、染め方も至って簡単。

▼染め方
①染料の粉を湯（紅茶の残りでも）で溶き、シャンプー後の髪をブラシで染め、1時間以上自然放置する（この時、一部の説明書にはラップで巻いて、とありますが、イラストのよう

に不用婦人ストッキングを利用すれば、使い捨てのラップを使わずに済みます。②放置後、シャンプーで洗い流す。③3週間に1度くらいの割合で染め直す。

願っていてはいかがでしょう！その分安くなる訳ではありませんが、髪や地球を害さない白髪染めを広めていくことにもなりますから。ちなみに石けんシャンプーも持参すれば使ってもええところもあります。

地球をまもる家事と工作

第27回 天然植物染料「ヘナ」の白髪染め

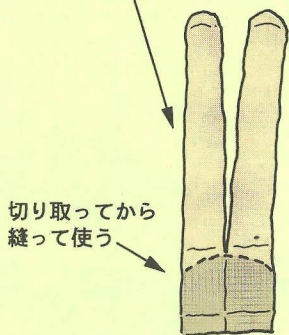
島 秀子
エコサイクル家事研究家



▼美容院でヘナ

ヘナ染料で白髪染めをしている美容院も登場しています。このような美容院が増えていくと良いのですが、現状ではごく一部です。そこで、自分で染めると染め残しが心配な方は、染料を美容院へ持参してお

脚部の使い方は
来月号でご紹介します



不用婦人ストッキングから
作る固定用ヘアキャップ



ピッチとして
使いやすい

ヘナ染料の入手先
●グリーンノート（中野区）
03・33366・0269 1
袋（50g）1400円
●オーサワジャパン（世田谷区）
03・55431・5500 他
1袋2000円（100g）
*1ヘナを使っている美容院
メリーランド（横浜市内神奈川区
南神大寺045・491・
0540 / 川崎市武蔵新城
044・755・1123）他

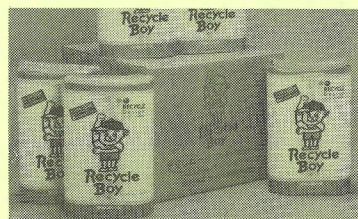
再生紙を使ってみませんか！

資源回収から生まれた再生紙です

再生紙を使うことは、
ゴミ減量・森林保護を支え、省エネルギーで経済的。
地球環境を守るためにも、資源回収から生まれた再生紙を積極的に利用しましょう。

●リサイクルボーイ トイレットペーパー

サイズ	1ケースの入数	規格	10ケース以下	11ケース以上
シングル（芯なし）	（1ケース8パック／1パック6ロール）48個	130m	1ケース3,360円	1ケース3,000円



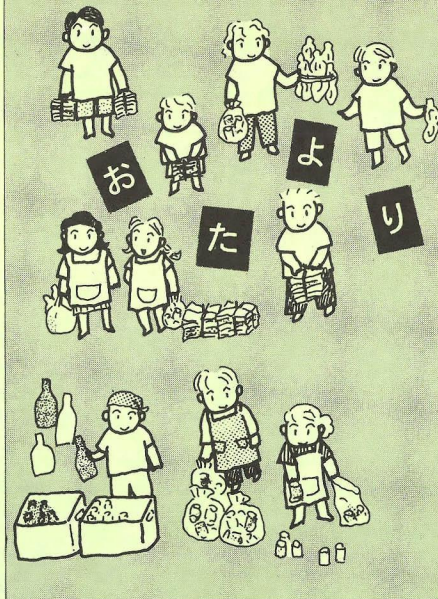
さわったお尻は忘れない

*上記価格は、1回のご注文につき1ケースあたり（各種・各サイズ込み）の価格です。消費税が別途かかります。
*配送は、受注後2～3日以内（土・日は除く）。送料は無料です。10ケース以上のご注文については、別途ご相談ください。

●今の小学校では、身の回りの自然環境に目を向けるようさまざまな取り組み（メダカ池を作ったり、プールにトンボのヤゴを飼ったり、木に目を向けさせたりなど）をやっている所もあります（私の勤務する学校もそういう関心の強い教師中心にやっている）。

っていかもしれないと考えます。つまり今の時期を、心情を養う素地作りの時期とみなしています。

他方、資源の無駄遣いをなくすという方向については（学校ですから主に紙類です）、私の学校の教師の間では意識が高くありません。個人



そういう活動で、自然がないという都会でも、さまざまな四季の変化に気づいていくことができると考えています。それを環境教育ととらえています。自然に目を向け、そのよさ、大切さに気づく人間になれば、将来、物を大切にしたら、環境に目をむけるようになります。

的には極力古紙は集めておいて、町内会のリサイクルに出しています。

環境教育というのは、はじめに書いた豊かな自然体験の部分と、物を大事にするという部分とで、有効に働くだらうと思っています。

中教審の答申でも環境教育

にふれられていて、子どもの教育の重要性はわかってはいるはずなのに、一部重点的に取り組む学校以外、子どもへの環境についての教育がされていないと思います（横浜市の公立校で私の狭い範囲で見知っている限りでは）。

匿名希望／小学校教員・男性

●エコ生活をしようと決意して、コンポストもソーラー発電も各種リサイクル（ガレージセル・バザー・古布活用）も、いろいろ試して実行の毎日。無理して完ペきに、なんて目指すと、生活がトゲトゲしくなるけれど、できる範囲内で積極的にやれば、けっこう楽しい。家族もいつの間にかエコ人間に染まりました。小1の子でさえ、まめに節電したり、トイレの水流しの時も、「おかあさん、今、ついでにする？」なんて声かけてきたりしています。各家庭や学校など、どこでも教育ですねえ！しみじみ。職場でもいろいろ提案して、エコ生活に協力しています（電気・紙とか）。

横浜市港北区／吉原裕子さん

この数字
ななんだ？

18,300円



家電製品などの耐久消費財がリサイクルされずにゴミとなったり、食品容器がワンウェイ化され、OA化の推進されてオフィスの紙ゴミが増加したりといった理由により、1985年頃から伸び続けていたゴミの排出量は、1990年をピークに横ばい状態となっています（国民一人当たり一日1.1キロ程度）。ところが、国民一人当たりのゴミ処理費用は、87年には年間8900円だったものが、92年1万4800円、そして93年には1万8300円と年を追うごとに大幅に増え続ける一

方です。ゴミの処理には、処理場建設やその管理運営・収集などが伴いますが、その費用の大部分は税金でまかなわれています。このまま増加し続ければ、処理費用が地方自治体にとって大変な負担となることは明らかです。

私たちが支払っている税金が有効に活用されるためにも、一人ひとりがゴミの量をできるだけ少なくする努力をしていく必要があります。

参考

王子製紙編・著「最新紙のリサイクル100の知識」1998

リサイクルデザインは次の所にも置いてあります

マルエツ井土ヶ谷店／イトーヨーカドー永谷店／相鉄ローゼン大口店／神奈川銀行瀬谷支店・本牧支店

組合員紹介

NO.19



三栄ガラス(株)杉山 嘉一さん

川崎市川崎区浅野町7-2

〒210-0854 ☎044・333・1331

■取扱品目: カレット

「しかし、選別をいくら機械化しても、その後の工程は人がやる。その人達が顔をそむけるようなことは困りますから、家庭で空きびんを回収に出すときは、

杉山さんはカレットの間屋を経営しています。カレットとは、ガラスびんの原料になる砕かれたびんのことです。三栄ガラスは、杉山さんのおじいさんが戦前に、「杉山儀三郎商店」として、横浜で空きびん問屋を開業したのが始まりです。終戦直後、ガラスびんメーカーの要請を受けてカレットを集め始めたころ、杉山さんは家業を継ぎました。[当時は今みたいに大型の

機械がなかったから、星川にあった日本硝子の引き込み線に貨車が着くと、皆でスコップを持って、『それっ』と貨車から空きびんを降ろしていた。次々来るから作業が間に合わなくて、貨車が星川から横浜までぎっしり連なったりもしたよ。それに、車もオート三輪だったので、荷台にびんをいっぱい積むと前輪が浮いて坂道が登れなくて、バックで登ったりしたよ。今なら

「笑い話だな」と懐かしんでいた。そして、昭和48年のオイルショックを機に、日本は省エネ時代が始まり、ガラスびんメーカーはより多くのカレットを使い始めました。今では、カレットだけを原料にしてガラスびんを作る技術も開発されています。カレットの利用率を10%高めると、それを溶かすための燃料が約2・5%節約できます。しかしそのためには、徹底して異物を取り除かなければいけません。カレットの中に、王冠やアルミキャップなどが混ざると、出来上がったびんにヒビやキズを作る原因となるからです。三栄ガラスの工場では、大掛かりな選別ラインを使って、徹底的に異物を取り除いています。

「数字の話になると、気づかぬうちに暗算を始めて指が動きだしちゃうんだ」

中身を出してゆすいでから出して下さい。それから、知らない人が多いと思うけれど、電子レンジ用の耐熱ガラスは、普通のびんとは溶ける温度が違うので、ガラスびんの原料にならないんですよ」杉山さんは子どものころからそろばんが好きで、見積りも暗算ですぐに出してしまいます。先日商談のとき、暗算しながらそろばんをはじくように指を動かしていたら、お客さんに「杉山さん、指が動いているけど、どうしたんですか？」なんて言われて、思わず笑ってしまったとか。(ほん太)

古紙ネットシンポジウム

古紙問題を市民レベルで考え続けてきた「古紙問題市民行動ネットワーク(古紙ネット)」が、5周年記念のシンポジウムを開催します。今回は古紙が循環するためのコスト負担のあり方とシステムについての提案を用意し、パネリストの皆さんに論議していただく形で進めます。参加者の発言も大歓迎! 社会に広く提案できる「古紙循環システム」を練り上げる予定です。どうぞご参加ください。

日時: 7月4日(土) 13時30分~16時30分

会場: 新宿リサイクル活動センター4階 もいちど倶楽部

JR・西武新宿線 高田馬場(戸山口)下車 徒歩3分

パネリスト

生田章一さん(通産省・紙業印刷業課課長)

河村たかしさん(衆議院議員/リサイクル議員懇談会・

古紙小委員会事務局長)

田中優さん(市民フォーラム2001共同代表)

細田衛士さん(慶應義塾大学経済学部教授)

提案者: 古紙問題市民行動ネットワーク会員

参加費: 資料代カンパとして500円

連絡先: 中村正子 ☎03・3424・4629

古紙を循環させるシステムとコストを検証する!

リサイクル 標準価格表

平成10年5月現在

品 名	買入価格*	業者の売値 5/28日経新聞より
新 聞	1kg - 1円 **	1kg 2~3円
雑 誌	1kg - 5~-2円 **	1kg 0~-5円
段ボール	1kg - 3円 **	1kg 2円
衣類くず	1kg - 1~0円 **	1kg 4~5円
アルミ缶	1kg 10~20円 ***	

*集団回収には「買入価格」が適用されます

**有償となります

***スチール缶等と選別してある場合の価格です

★この価格は500kg以上集団回収する団体のみに適用されます
また取引条件により、多少の変化があります★事業所から発生したものは、集団回収の対象になりません
事業所ごとに、業者と直接ご相談ください★集団回収以外の段ボールの回収には、1回3,000円以上の
手数料がかかります

★段ボールは必ず束ねて出してください

オフィス古紙
共同回収

'98.4

参加企業 11社

15,830kg

回収地域は横浜駅西口・
新横浜の2か所アルミ缶
店頭回収

'98.4

市内スーパー等
102店舗

41,330kg

(3,209,000缶)

横浜橋通商店街
ダンボール回収

'98.4

11,780kg

古紙を再生する時に品質を左右する第一のポイントは、分別がしっかりされていること。種類ごとにきちんと分別されていれば、同じ性質の繊維が集まるので、再生をスムーズに行うことができます。一方、雑誌や新聞・段ボールなどが雑多に混ざっている場合は、ミックス古紙として扱われます。ミックス古紙は使いみちが極端に限られているので、せっかくの資源を有効に活用できなくなってしまいうことになり兼ねません。

また、回収に出す場合には、紙の原料にならない「**禁忌品**」が混ざっていると再生の障害になるので、混ぜないように注意してください。紙類では、窓つきの封筒やビニールコート紙・紙コップなどのワックス加工品・油紙・写真・合成紙・感熱紙（ファックスやワープロに使われている紙）・カーボン紙などが禁忌品にあたります。

紙以外の禁忌品には、ポリ袋・粘着テープ・金属クリップ・フィルム・セロファン・プラスチック製の書類ケースなどがあります。

古紙を扱っている製紙工場では、異物除去装置を備えてはいますが、異物が多過ぎたり、装置で除去できないものが入ると対応が難しくなるため、回収に出す段階で混ぜないように注意する必要があります。

回収に出す際のわずかな心配りが、古紙の再生をスムーズにするのです。

リサイクル
コンポイント講座月刊 リサイクルデザイン
No.46

発行日 1998年6月15日

発行人 中野聡恭

編集人 宗村隆寛

発行所

横浜市資源リサイクル事業協同組合
〒220-0023

横浜市西区平沼1丁目33番1号

東洋建物横浜ビル5階

TEL & FAX 045・316・5122

スタッフ

山岡秀明・武松昭男

杉山宜利・竹澤留美

ライター 島秀子・高橋由紀

イラスト いとうみき

編集・制作 よしのたかこ

印刷 オリジナルプランニング

編集後記

♥最近、“What's リサイクル?”に質問をいただくのですが、質問内容がかなり細かくなつたうえ、こちらが仕事に追われていることもあって、なかなかすぐにお答えすることができなくて、申し訳なく思っています。頑張ります。5月31日に行ったリサイクルデザインフォーラム、たくさんの方のご参加ありがとうございました。当日のアンケートにお応えいただいた内容は、参考になることばかり。フォーラムへの感想・ご意見などありましたら、まだ受け付けています。FAX・お手紙でお願いします。(底抜け)

バックナンバー差しあげます。
送料のみご負担ください。
お申し込みはお電話で。
☎045・316・5122 担当竹澤

“リサイクルデザイン Club”
会員募集

月刊リサイクルデザインは、市内の一部の区役所・地区センターで無料配布していますが、会員として定期購読して支えてくださる方も募集しています。ご希望の方は、1年分1,000円(郵送料相当)を郵便局の振替用紙を使ってお振込みください。

口座番号 00210-3-64725

加入者 横浜市資源リサイクル事業協同組合
お届けは毎月20~23日。特にご指定がなければ、最新号からお送りします。

また、イベントなどについての情報を、別途お知らせします。

